

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 4クラス114名の幼児が在籍し、さまざまな遊びを友達と一緒に楽しんでいる。しかし、気の合う友達や先生など特定の人とのかかわりが多く、かかわりの幅が広がりにくい子どももいることから、25年度より、異年齢交流保育に取り組み、成果をあげている。支援を要する幼児も多数在籍する現状から、交流計画や取り組み方法を再構築する必要がある。
- さまざまな人とかかわりを、さらに広げていく取り組みを充実させる。
- 防災・安全教育の推進をさらに進め、子どもも大人も生命を守る意識の向上を図る。
- 体を動かす経験が、幼稚園内外で少なくなっている。自分で進んで体を動かし、楽しんで遊べる環境を整えていくことで、体力の向上、健康につながるよう充実させる。
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を育むために、発達段階や季節に応じた遊びを充実させる。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「避難訓練や安全指導などを通して、災害時の行動や安全な生活への意識を高めている」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年90%以上にする。
- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「幼稚園の生活や遊びの中で、いろいろな友達とかかわる機会が多くあった」「年度当初よりいろいろな友達とかかわって遊ぶようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年95%以上にする。
- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「幼稚園にかかわりの深い園外の人々（地域の人々や小学生）との交流活動に興味をもつようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年90%以上にする。
- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「年度当初より自分の思いを友達に伝えられるようになった」「年度当初より友達の思いに気づき、考えられるようになった」「保護者の方が、人権に対して考える機会が多くあった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」「幼稚園は発達段階や季節に応じた遊びを工夫している」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年90%以上にする。
- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「年度当初より栽培活動を通して、身近な自然に親しんだり、関心をもったりするようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年95%以上にする。
- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「年度当初より手洗い・うがいの習慣が身についた」「年度当初より歯みがきの習慣が身についた」「年度当初より食べ物（特に野菜）に関心をもつようになった」「年度当初より食べる時のマナーについて知ったり身についたりした」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年80%以上にする。
- 平成29年度～平成32年度の年度末保護者アンケートにおいて「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を、毎年90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

幼稚園の年度目標

- 今年度末の保護者アンケートにおいて「避難訓練や安全指導などを通して、災害時の行動や安全な生活への意識を高めている」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を90%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園の生活や遊びの中で、いろいろな友達とかかわる機会が多くあった」「年度当初よりいろいろな友達とかかわって遊ぶようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を95%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園にかかわりの深い園外の人々（地域の人々や小学生）との交流活動に興味をもつようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を90%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より自分の思いを友達に伝えられるようになった」「年度当初より友達の思いに気づき、考えられるようになった」「保護者の方が、人権に対して考える機会が多くあった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

幼稚園の年度目標

- 今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」「幼稚園は発達段階や季節に応じた遊びを工夫している」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を90%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より栽培活動を通して、身近な自然に親しんだり、関心をもったりするようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を95%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より手洗い・うがいの習慣が身についた」「年度当初より歯みがきの習慣が身についた」「年度当初より食べ物（特に野菜）に関心をもつようになった」「年度当初より食べる時のマナーについて知ったり身についたりした」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を80%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートにおいて「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立西野田幼稚園 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>幼稚園の年度目標</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「避難訓練や安全指導などを通して、災害時の行動や安全な生活への意識を高めている」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 90%以上にする。</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園の生活や遊びの中で、いろいろな友達とかかわる機会が多くあった」「年度当初よりいろいろな友達とかかわって遊ぶようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 95%以上にする。</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園にかかわりの深い園外の人々（地域の人々や小学生）との交流活動に興味をもつようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 90%以上にする。</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より自分の思いを友達に伝えられるようになった」「年度当初より友達の思いに気づき、考えられるようになった」「保護者の方が、人権に対して考える機会が多くあった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 85%以上にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【施策番号 1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>安全に気をつけて行動する力をはぐくむ指導に取り組む。</p> <hr/> <p>指標：交通安全指導、防犯指導の年間計画を作成し、計画通りに実施する。 避難訓練の年間計画を立て、実施する。 年 3 回以上、地域や保護者と連携した安全に関する指導を行う。 月 1 回、保護者と協力して登降園指導を行う。 年 3 回、保護者に取組内容の情報を発信する。</p> | A |
| <p>取組内容②【施策 2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>園児の交流活動を計画的に行い、様々な人々とかかわる力をはぐくめるよう指導する。</p> <hr/> <p>指標：「なかよし集会」「なかよしタイム」「すくすくタイム」をそれぞれ月 1 回以上行う。</p> | B |
| <p>取組内容③【施策 2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>地域の人々や保護者と連携して教育をすすめる。</p> <hr/> <p>指標：学期に 1 回以上、地域の人々や小学生との交流活動を実施する。 学期に 1 回以上、人権教育につながる親子の活動を実施する。</p> | B |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| <p>取組内容①【施策番号 1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>・交通安全指導、防犯指導の年間計画を作成し、計画通りに実施した。5 月に府警による交通安全教室を行い、実際に信号を見て横断歩道を渡る経験ができ、保護者向けの安全指導も行ったことで、交</p> | |

通安全への意識が高まった。

- ・避難訓練の年間計画を立て、実施した。(内容は別紙添付資料①に記載) 毎回訓練前にクラス目標を決めて取り組み、事後に振り返りを行うことにより、災害への意識や次への課題を確認することができた。5月の避難訓練では、保護者にメールの配信を行い、メールの受信状況を把握した。6月の大阪北部地震において、全家庭に園からの緊急対応を知らせることができた。6月の避難訓練では、消防署の指導の下、職員による通報訓練・消火訓練を行った。子どもたちは消防車を見せてもらうなどし、火事や災害に対する意識が高まった。9月に大阪880万人訓練を計画していたが、前日の台風による被害が大きく、中止となった。災害を受け、9月末から10月に各クラスで区民センター4階まで避難する訓練を行い、安全に急いで階段を上ることを意識することができた。10月の避難訓練では不審者を想定し、近くの先生のところに集まることができ、職員間で対応について話し合うことができた。11月には火災を想定した引き渡し訓練を実施した。引き渡しにかかる時間などを知ることができ、メール配信を再度確認することもできた。
- ・1学期始業式で、職員によるパペットを使った交通安全に関する指導を行った。
- ・月1回、保護者と協力して登降園指導を行っている。毎回良かった点、気を付けてもらいたい点などを手紙にまとめて出すことで、保護者への啓発になっている。
- ・学期末に安全に関する取り組みについて、写真を使った掲示物を作り、避難訓練などの様子を保護者に知らせた。
- ・1学期の保護者アンケートにおいて「避難訓練や安全指導などを通して、災害時の行動や安全な生活への意識を高めている」という項目での高評価の回答が99%であり、進捗状況をAとした。

取組内容②【施策2、道徳心・社会性の育成】

- ・なかよし集会(全園児での活動)、すくすくタイム(異年齢での活動)、なかよしタイム(同年齢での活動)はそれぞれ月2回以上実施できた。(内容は別紙添付資料②に記載)
- ・1学期の始めから、ペアクラスを決め異年齢での交流の機会を多くもってきた。身支度の手伝いや発育測定の手伝いなどを通して関わる経験を積み重ねたことで、異年齢の友達への親しみの気持ちをお互いにもつことができ、自然な関わりが見られるようになってきている。4歳児は5歳児の優しさを感じ、5歳児は頼られる嬉しさや思いやりの気持ちをもって接する姿が見られる。
- ・園外保育当日に向けて、事前に手をつないで歩くペアでふれあい遊びをしたり、一緒に体操をしたりすることで当日も安心して活動する姿が見られた。
- ・クラスの活動だけでなく、学年で遊ぶ時間をもったり、全園児で戸外遊びをしたりした。様々な友達と関わられるように意図的に時間や場所の設定をしてきたことで、自然と鬼ごっこやダンスなど一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきている。
- ・1学期の保護者アンケートでは「幼稚園の生活や遊びの中で、いろいろな友達とかかわる機会が多くあった」という項目での高評価の回答が95%、「年度当初よりいろいろな友達とかかわって遊ぶようになった」という項目では98%であった。目標は達成しているなので、進捗状況をAとした。

取組内容③【施策2、道徳心・社会性の育成】

- ・6月19日には、福島区女性会のみなさんに盆踊りを教えていただき、夏祭り等地域行事への関心が高まった。
- ・7月11日には、吉野小学校6年生と5歳児がプール交流をし、小学校の施設を見たり、6年生に優しく世話をしてもらったり泳ぎを見せてもらったりして、小学校進学への憧れの気持ちが高まった。
- ・10月22日・29日・11月1日には、野田中学校の3年生3クラスが1クラスずつ家庭科における保育実習を行った。いっしょに遊んだり、イモ掘りをしたり、歌を聞いてもらったり楽しく過ごすことができた。

- ・ 11月15日・16日には、下福島中学の2年生2名が職場体験を行った。交流を通し、優しく接してもらい喜びを感じることができた。
- ・ 毎月、隣接する江成公園の清掃を親子で行い、地域の施設をきれいに大切にしようとする気持ちを育てている。また、清掃の様子を掲示し、地域の方にも見ていただけるようにしている。
- ・ おひさま広場（未就園児の園庭開放）では、月に1回以上未就園の子どもが幼稚園に遊びに来て在園児と一緒に遊んだり、保護者同士も関わりを広げたりできるように実施した。未就園の子どもと園児と一緒に仲良し遊びをするなどの機会をつくり、地域のいろいろな友達とかかわれるようにした。11月16日には、幼稚園ウィークに合わせて人形劇をよび、在園児・未就園児クラスとともに、おひさま広場にきた子どもたちを招待して一緒に見た。
- ・ 5歳児は去年の経験があり、意欲的に受付や挨拶をしていた。兄妹関係を中心に、年下の友達に遊具を持ってきたり、案内したりする姿が見られた。4歳児はどのように関わればいいのかとまどう姿も見られたが、一緒に体操をすることなどを楽しむことができた。
- ・ 人権については保育室降園の時に取り組んだ。命を大切にすることを育むような絵本や図鑑を読み、読んだ後に感じた気持ちや、命あるものをどのように扱えばいいかについて話し合った。保育の中で飼育物を育て、命の大切さを感じられるような活動をしていることについて保護者にこまめに伝えた。子どもの具体的な姿を伝えていくことで、保護者も関心をもっていた。
- ・ 1学期の保護者アンケートでは「幼稚園にかかわりの深い園外の人々（地域の人々や小学生）との交流活動に興味をもつようになった」という項目で高評価の回答割合は77%、「年度当初より自分の思いを友達に伝えられるようになった」という項目で高評価の回答割合は96%、「年度当初より友達の思いに気づき、考えられるようになった」という項目で高評価の回答割合は92%、「保護者の方が、人権に対して考える機会が多くあった」の項目での高評価の回答は94%であり、進捗状況をBとした。

次学期への改善点

取組内容①【施策番号1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】

- ・ 今後も地震が心配されるので、いろいろな状況を考え、避難訓練を実施したい。

取組内容③【施策2、道徳心・社会性の育成】

- ・ 引き続き様々な友達と関わられるように、子どもたちの実態に合わせた交流活動を計画的に行えるようにする。

取組内容③【施策2、道徳心・社会性の育成】

- ・ 引き続き公園清掃や、おひさま広場など計画的に行い、公共の場を大切にしたり、いろいろな人と関わったりできるようにしていきたい。
- ・ 命の大切さや、自分の気持ち、相手の気持ちをまず知ることから、次に考えたり大切にしようとする気持ちが育まれていくのではないかと思われる。今後も家庭への啓発をする機会をつくっていきたい。

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>幼稚園の年度目標</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」「幼稚園は発達段階や季節に応じた遊びを工夫している」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 90%以上にする。</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より栽培活動を通して、身近な自然に親しんだり、関心をもったりするようになった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 95%以上にする。</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「年度当初より手洗い・うがいの習慣が身についた」「年度当初より歯みがきの習慣が身についた」「年度当初より食べ物（特に野菜）に関心をもつようになった」「年度当初より食べる時のマナーについて知ったり身についたりした」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 80%以上にする。</p> <p>○今年度末の保護者アンケートにおいて「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」という項目で「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合を 90%以上にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>子どもの発達段階や季節に応じた遊びの内容や指導法を工夫する。</p> <p>指標：年 1 回指導要請による研究保育を実施する。</p> <p>年 10 回園内研究会を行い、方法を工夫する。</p> | A |
| <p>取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>家庭でも健康や体を動かすふれあい遊びに興味をもてるよう、保護者への啓発を行う。</p> <p>指標：毎月の園だよりに、体を動かすふれあい遊びを掲載する。</p> <p>年間 5 回、保育室降園を活用して、保護者と子どものふれあい遊びをする。</p> | A |
| <p>取組内容③【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>栽培活動を通して、野菜の生長に関心をもてるような活動を工夫する。</p> <p>指標：「西野田 SUN サンファーム」、園内の自然環境の充実を図り、夏野菜や冬野菜の栽培活動に取り組む。</p> | A |
| <p>取組内容④【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>基本的な生活習慣が身につくように指導の工夫をする。</p> <p>指標 基本的な生活習慣（食育を含む）に関する保健指導を毎月 1 回、実施する。</p> | A |
| <p>取組内容⑤【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>発達段階や興味関心に応じて、言葉に関するいろいろな体験や遊びをする。</p> <p>指標：年 3 回以上講師による絵本の読み語りを実施する。</p> <p>年 3 回以上、英語など外国語に親しむ活動を実施する。</p> | A |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】

- ・6月に指導要請による研究保育を実施した。指導案作成に向け、職員全員で繰り返し、発達段階や季節に応じた遊びの内容や、子どもたちの姿について話し合い、共通理解や保育について相談し合うことができた。指導助言や反省会を通して、保育を振り返ったり、意見を交換したりし、保育力向上につながった。
- ・園内研究会を5月7月9月・10月・11月に行った。他教諭の保育を見合い、反省会をもつことで、ねらいの立て方や、子どもの実態に応じた展開の考え方、子ども一人一人の思いを受け止め実現できるような言葉かけの大切さなどについて学ぶことができた。また、11月の園内研究会では、ワールドカフェ形式で反省会を行い、協議を深めた。
- ・1学期の保護者アンケートにおいて「幼稚園は発達段階や季節に応じた遊びを工夫している」という項目で高評価の回答が98%以上とあり、進捗状況をAとした。

取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・毎月の園だよりに、体を動かしながら楽しむふれあい遊びを掲載し、保護者への積極的な啓発を行った。掲載する遊びの内容は、互いの足をくっつけて左右交互に押し合ったり、向かい合ってふれあいを深めたりするような遊びなど、体を親子で動かしながらスキンシップを図ることのできる遊ぶことができるものを精選し、保護者へ啓発した。また、掲載するだけではなく月末の保育室降園の際に、保護者の方と一緒にその月に掲載した遊びを取り組むことにより関心が高まり、家庭でのふれあいのきっかけにもなっている様子が見られた。
- ・保護者とゆっくり向き合って遊ぶ機会を設けることにより、子どもたちも嬉しそうな表情を見せていた。また、事前に子ども同士で遊んでいたふれあい遊びの時には、子どもたちが保護者に一生懸命遊びを教えようとしていた。
- ・1学期の保護者アンケートにおいて「年度当初より、身体を動かす遊びが好きになりましたか」という項目で高評価の回答割合は98%となり、進捗状況Aとした。

取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・西野田SUNサンファームでの活動、栽培計画を立てて取り組んだ。4月に土起こしをし、5月にサツマイモの苗植えを全園児で行った。保護者の手伝いもあり、サツマイモの苗の形、他の野菜との植え方の違いなどに気付きながら苗を植えることができた。その他、PTA、事業担当主事を中心に充実を図ることができた。トマト、ピーマン、ナス、ゴーヤ、キュウリ、オクラ、ズッキーニ、カボチャ、インゲン豆、枝豆を植えた。月に1回以上各クラスで野菜の生長を見に行ったり、虫を探しに行ったりと畑に親しめるようにし、植物の葉っぱの大きさや茎の高さ、触り心地の違いなどに面白さを感じながら遊ぶ姿があった。ビワの木からビワを獲り、みんなで分けたり、できた野菜をクラスで順番に持って帰ったりし、「こんなふうにできるんだ」と保護者と一緒に感動したり喜んだりする様子があった。
- ・園庭の畑にはトウモロコシを種から植え、芽が出て少しずつ大きくなっていく過程を喜んでいた。間引きの際に4歳児が「年長さんが植えたトウモロコシの赤ちゃん（ヤングコーン）」と嬉しそうに1人1本持って帰り、5歳児は背丈よりも大きくなったトウモロコシの収穫をして1人1本持って帰ることができた。種から植えた野菜の生長を喜びながら味わったようだった。
- ・各自の鉢で保護者と一緒に夏野菜を植え、一緒に育てる機会をもった。水やりをはじめ、支柱を立てたり肥料をやったり、わかりやすく楽しみながら一緒に世話ができるように掲示物を工夫した。さらに、養護教諭が『やさいカード』を用意し、各家庭で収穫物を家庭に持ち帰って食べた様子を『やさいカード』で知らせてもらった。今年度は、集まったすべての『やさいカード』をその都度、掲示していった。『やさいカード』に書かれている野菜の調理方法を参考にしている保

護者の姿が見られた。その姿を受け、保健指導の食育指導につなげた。

- ・ 5歳児は自分たちで植えた夏野菜を見ながら絵をかく機会をもち、花の色や葉の形、感触などの細かい変化や特徴に関心をもつようになってきた。
- ・ 10月29日にはPTAにも協力してもらい、全園児と未就園児とがイモ掘りをした。区長にも来てもらい、たくさんのイモを収穫することができ、収穫の喜びを感じることができた。
12月7日においもパーティーが計画しており、楽しみにする姿がある。
- ・ 1学期の保護者アンケートでは、「年度当初より、栽培活動を通して、身近な自然に親しんだり関心をもったりするようになった」という項目で高評価の回答割合は99%であった。目標を達成しているので、進捗状況をAとした。

取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・ 毎月1回保健指導を実施する。(5月：手洗い・うがい 6月：歯みがき 7月：洗顔 9月：早寝早起き 10月：目の健康 11月：歯の健康)
- ・ 『けんこうせいかつカレンダー』を作成し、6月は歯みがき、7月は朝の洗顔、夏休みは早寝早起き朝ごはん、11月は朝の生活に取り組めるようにした。色ぬりやシールという目に見える達成感を目標にして「家でもがんばっている」姿が見られた。短期間での取り組みであるが、歯みがきや洗顔の習慣化に役立っている家庭もあった。毎月のがんばりが子どもたちにも分かるように、カレンダーを冊子状にした。毎月、継続していき、子どもたちの意識を高めていくようにする。
- ・ 10月に『基本的な生活習慣に関するアンケート』を実施した。家庭での子どもの生活の実態が把握できたので、子どもへの指導や支援に活用したり、保護者啓発に生かしていくようにする。
- ・ 1学期の保護者アンケートでは、「年度当初より手洗い・うがいの習慣が身についた」という項目で高評価の回答割合は95%、「年度当初より食べ物に関心をもつようになった」という項目では97%、「年度当初より食べる時のマナーについて知ったり身についたりした」という項目で92%であった。目標は達成しているので、進捗状況をAとした。

取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

- ・ 各クラスで子どもの興味関心や、行事、季節に応じた絵本や紙芝居など取り入れ、いろいろなお話に興味をもてるように取り組んできた。さらに、5月に福島図書館のボランティアの方に大型絵本や腹話術などしていただいたり、6月には講師によるお話の会をしていただいたりして、絵本やお話への関心がさらに高まった。
- ・ 6月18日・11月12日には、講師に「英語で遊ぼう」をしていただき、一緒に歌ったり体を動かしたりしながら英語の挨拶や歌、簡単なやりとりを楽しむことができた。
- ・ ペルー、中国にルーツをもつ子どもが入園したことにより、スペイン語や中国語に関心をもち、お互い簡単な言葉のやりとりをしたり、掲示してある言葉や地図、外国語の絵本に興味をもったりする姿も見られた。中国にルーツをもつ保護者の方の協力を得て、7月19日・11月19日には、「中国語であそぼう」として、中国語の絵本や手遊びなどをしてもらった。中国の文化や言葉にふれる機会をつくったことで、関心をより高めることができた。
- ・ 1学期の保護者アンケートでは「言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くあった」の項目で高評価の回答が97%になっており、進捗状況をAとした。

次学期への改善点

取組内容①【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】

- ・ ビデオ研修など、園内研の方法をさらに工夫する。
- ・ 保育観や子どもの姿について共通理解を深め、援助していきたい。

取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・保育室降園の日であっても、迎えに遅れて来られる方や預かり保育を利用している方も多いため、そのような家庭の子どもたちや保護者への啓発やふれあいの機会をどのように促していくのが課題である。
- ・園だよりに掲載する遊びの内容を再度検討し、身体を動かして遊ぶことへの関心を高めたり、ふれあいの機会の充実を図ったりできるように、啓発を継続していく。

取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・1学期後半の暑さなど、なかなか畑に行けなかいこともあったが、今後も畑を定期的に見に行ったり世話をしたりし、自然への関心をさらに深めていきたい。
- ・冬から春にかけての野菜の準備など計画的にすすめ、季節の野菜の生長・収穫を体験できるようにしていきたい。

取組内容④

- ・毎月のがんばりが子どもたちにも分かるように、カレンダーを冊子状にした。毎月、継続していき、子どもや保護者の意識を高めていくようにする。
- ・『基本的な生活習慣に関するアンケート』結果を保護者に伝え、保護者啓発を図りたい。

取組内容⑤（施策6 国際社会において生き抜く力の育成）

- ・引き続き、子どもの興味や生活に応じた内容の絵本を吟味し、読み聞かせをしたり、いろいろな方からお話を聞く機会を設け、お話の楽しさ面白さを感じられるようにする。
- ・ペルーにルーツをもつ保護者の協力も得て、ペルーの文化やスペイン語にふれる機会もつくりたい。